

環境、社会に貢献する良好な緑地、取り組みを評価する「緑の認定」

SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)に、

新規2か所の企業緑地が加わりました。



公益財団法人都市緑化機構(会長 市川 晃)では、民間事業者が所有、管理する緑地の価値を、その取組が市民や環境、社会にとっていかに素晴らしいものなのかを客観的に評価する「緑の認定」制度 SEGES(シージェス:社会・環境貢献緑地評価システム)を運営しています。SEGES評価・認定委員会では、企業緑地を評価し、認定ラベルの決定とステージ昇格の可否を審査します。

この度、SEGES評価・認定委員会での審議を経て、新規2か所、認定ラベルのステージ昇格2か所、緑の殿堂更新1か所を認定しました。

●新規認定『都市のオアシス』

・湊町地区中央広場および『なんばセントラルプラザリバーガーデン』有効空地
／リバー産業株式会社(大阪府大阪市)

・Research Gate -TONOMACHI-／大和ハウス工業株式会社(神奈川県川崎市)

●認定ラベルのステージ昇格『そだてる緑』: Excellent Stage 2 → Excellent Stage 3

・「森の中の本社工場」／ローム株式会社(京都府京都市)

・菊池研究所 明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森®
／KMバイオロジクス株式会社(熊本県菊池市)

●『緑の殿堂』更新

・大分テクノロジーセンター 国東サテライト／ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社(大分県国東市)

■申込から認定までの流れ

申込(書類審査)	現地審査	認定委員会	認定式
2023年9月～2024年2月	2023年10月～2024年2月	2024年3月4日(月)	2024年11月予定

■認定方法

(公財)都市緑化機構理事長が委嘱した下記委員により構成するSEGES評価・認定委員会での審議を経て認定する。

委員長	仙田 満	東京工業大学 名誉教授
委員	井上 洋	明治大学国際日本学部 兼任講師
	原口 真	MS&ADインターリスク総研株式会社 フェロー
	森本 幸裕	京都大学 名誉教授、公益財団法人京都市緑化協会 理事長
	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
	山崎 誠子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 准教授
	湯澤 将憲	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
	棚野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事
制度担当	寺田 良二	公認会計士
	平松 宏城	株式会社ヴォンエルフ 代表取締役、株式会社Arc Japan 代表取締役

(2024年3月現在 敬称略)

■湊町地区中央広場および『なんばセントラルプラザリバーガーデン』有効空地

認定ラベル : 都市のオアシス
形態 : 公共空地、公開空地（分譲マンション）
所在地 : 大阪府大阪市浪速区
事業者 : リバー産業(株)

開発全体のシンボリックな中央広場と超高層分譲マンションの緑地です。里山の雰囲気を持つ立体的な緑地をつくりだし、緑視率や緑量感の確保に努めています。安全安心、環境への配慮が十分になされ、地域住民も利用できる緑地になっていることを評価しました。



■Research Gate -TONOMACHI-

認定ラベル : 都市のオアシス
形態 : 公開空地（研究施設、ホテル）
所在地 : 神奈川県川崎市川崎区
事業者 : 大和ハウス工業(株)

周辺に緑地が乏しい環境において、隣接する都市公園と一体的に整備された緑地を有する研究施設です。24時間365日開放、壁面緑化や雨水貯留を導入し、安全性も確保されています。利用者にとって親しまれる空間になっていることを評価しました。



■「森の中の本社工場」

認定ラベル : そだてる緑 Excellent Stage3
形態 : 工場緑化（樹林帯、ビオトープ、菜園、外構）
所在地 : 京都府京都市右京区
事業者 : ローム(株)

創業から60年以上が経過し、地域に根差した経営とアイデンティティのあるまとまった緑を有する工場です。年々、整備を深化させ、国際的なネイチャーポジティブの機運を理解したビオトープエリアの再整備と地域とのつながりを意識した活動の評価しました。



■菊池研究所 明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森®

認定ラベル : そだてる緑 Excellent Stage3
形態 : 工場緑化（樹林帯）
所在地 : 熊本県菊池市
事業者 : KMバイオロジクス(株)

まとまった樹林地を有し、令和5年度「自然共生サイト」認定を取得した工場です。初回認定時に示された課題に真摯に向き合い、動植物調査とモニタリングを実施し、将来計画を策定・実践するとともに、サイト外での地域貢献活動を評価しました。



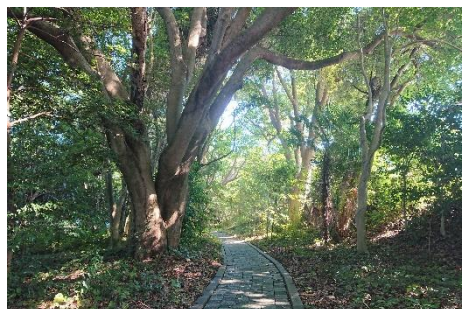
「こもれびの森」はKMバイオロジクス(株)の登録商標です。

■大分テクノロジーセンター 国東サテライト

緑の殿堂更新

認定ラベル : そだてる緑 Superlative Stage／『緑の殿堂』
形態 : 工場緑化（樹林帯）
所在地 : 大分県国東市
事業者 : ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)

貴重な動植物の生育・生息地となる緑地と地域に開かれた「ソニー潮の香公園」を有する工場です。従来通りの取組の継続性のみならず、関連企業等との連携により進められている新たな取組は他の企業が見習うべき社会貢献活動の姿であると高く評価しました。



2024年度更新審査における認定は以下の通りです。

● 『都市のオアシス』

2015年度の認定から更新3回目のサイト

- ・ 大阪ステーションシティ / 大阪ターミナルビル(株) (大阪府大阪市)
- ・ 玉川高島屋ショッピングセンター / 東神開発(株) (東京都世田谷区)
- ・ 大手町タワー 大手町の森 / 東京建物(株) (東京都千代田区)

2018年度の認定から更新2回目のサイト

- ・ 大手町ファーストスクエア ファーストスクエアガーデン
/ エヌ・ティ・ティ都市開発(株) (東京都千代田区)



大阪ステーションシティ



玉川高島屋ショッピングセンター



大手町タワー-大手町の森



大手町ファーストスクエア

SEGES (シージェス)とは

SEGES (Social and Environmental Green Evaluation System) は、企業等によって創出された良好な緑地と日ごろの活動、取り組みが、地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和、地域生態系の保全、良好な景観の保全と創出、地域社会とのコミュニティ醸成や安心・安全なまちづくり等、社会や環境に貢献していることを、第三者審査会により評価し、(公財)都市緑化機構が認定しています。

SEGESは、事業者が所有する緑地の優良な保全、創出活動を評価・認定する『そだてる緑』、開発、建築に伴う優良な緑地環境計画を評価・認定する『つくる緑』、快適で安全な都市緑地を提供する取り組みを評価・認定する『都市のオアシス』の3つの部門から構成されています。2017年からは、SEGES認定を10年以上継続、そだてる緑「Superlative Stage」を3回連続で更新し、他社の模範となる緑地を『緑の殿堂』として認定しています。2024年4月現在で154箇所の企業緑地を認定しています<公式WEB <https://seges.jp/>>

SEGESは、「低炭素まちづくり実践ハンドブック」や「生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き」(以上、国土交通省)への記載、「自然共生サイト」認定(環境省)と連携しています。2023年からは、「GRESB」の「グリーンビル認証」の一つとしても報告できるようになりました。

【参考】

自然共生サイト：<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

GRESB：<https://www.gresb.com/nl-en/>

今後も全国で、『そだてる緑』『都市のオアシス』『つくる緑』の普及と認定緑地の拡大に努めてまいります。

なお、本事業は住友林業株式会社の特別協賛をいただいております。

お問合せ先 公益財団法人都市緑化機構 SEGES事務局 担当 菊池
〒101-0051千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
電話：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
E-mail：midori.info@urbangreen.or.jp